

競技・審判上の注意等について

1 競技・審判上の注意

〈全般的事項〉

1. 本大会は、2023年度公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程並びに公認審判員規定により行います。また、北海道バドミントン協会から出されている「改訂 競技・運営上の注意」に則り、大会運営を行って参ります。
2. 審判構成は派遣審判員の協力を得て、主審のみ大会本部にて行います。サービスジャッジは、原則として配置しません。線審、得点表示員は、敗者選手が行うとし、皆様からのご協力をお願いします。
3. 試合(マッチ)の進行は、試合番号順に空いたコートへ入れていきます。(流し込み方式)
進行状況によって連続して試合(マッチ)を行う場合、原則として試合(マッチ)終了後10分以上の間隔を置き、次の試合(マッチ)を行います。
4. 試合の進行によっては、試合順が前後する場合がありますので、放送に注意してください。
5. 試合(マッチ)中のシャトルの銘柄変更、指定は認めません。シャトルの交換は、主審が決定します。また、シャトルのスピードは、レフェリーが決定します。
6. インターバル時にアドバイスを行う場所は競技区域内に限定し、次の条件に従ってください。
 - (1) コーチ席を設けます。どちらのサイドも2人まで競技区域に入ることが認められていますが、主審が「(コート番号)20秒」とコールしたら競技区域外へ離れてください。
 - (2) インプレー中のアドバイスは認められません。なお、団体戦の場合はチームベンチとコーチ席を設けます。チームベンチ、コーチ席に入られる方は、コーチングにふさわしい服装(11. 記載)で臨んでください。
7. 試合(マッチ)中における水分補給、汗拭き、ラケットの交換、靴紐の締め直し等による中断については、必ず主審の許可を得てください。また、以下のことに注意してください。
 - (1) 団体戦のとき、当該選手はベンチまたはその付近での水分補給は認めません。
 - (2) 容器は倒れても水が漏れないボトル等を使用し、選手が持参した入れ物(ラケットバック等)に入れてください。
 - (3) 体力回復を図っていると思われる行為は認めません。
 - (4) 競技フロア内へのハードクーラーボックスの持ち込みは禁止します。
 - (5) 氷嚢の使用はインターバル時のみ認めます。氷嚢使用後は小型の保冷バッグ(ソフトバッグ)等に入れ、保管してください。
8. 試合(マッチ)中のけがや病気に対しては、主審が判断します。主審が必要に応じてレフェリーを呼んだ時は、レフェリーの判断に従ってください。応急処置はいたしますが、その後は自己責任となります。
9. 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認めません。もし判定に対して疑問のある場合には、次のサービスが行われる前に「質問」をすることができます。ここで質問のできる者とは、団体戦では当該選手と監督、個人戦では当該選手に限ります。試合(マッチ)中、インプレーでない時のアドバイスはチームベンチまたはコーチ席に座って行い、試合(マッチ)中はコートのそばに立ってはいけません。また、監督・コーチが他のコートへ移動するときは、必ずインプレーでないときに行ってください。
10. 感染症対策に基づき、選手は対戦選手、主審(およびサービスジャッジ)との握手は、行わない

ようにしてください。

11. 試合(マッチ)時における服装は、大会運営規程第23条、第24条を遵守してください。
その際、背面中央には漢字で明瞭に判断できる色で書かれた都道府県名のみを、文字の大きさは、横30cm、縦6～10cmの範囲に明示してください。
ゼッケンを使用する場合の大きさは、横30cm、縦15cmを基準とします。また、明示した布をピンで固定する場合は、四隅を止めてください。
また、監督・コーチの服装については、公認審判員規程第3条第12項(8)に基づき、試合(マッチ)にふさわしい服装で臨んでください。チームユニフォーム、シャツ、ポロシャツ、ブラウス、長ズボン、スカート等を着用してください。
12. 競技区域での携帯電話の使用は禁止します。また、会場内での携帯電話はマナーモードにしてください。モバイル機器(タブレット端末・携帯電話等)を使用しての試合(マッチ)中のアドバイス、コーチングは認められません。
13. その他については、代表者会議における打ち合わせ事項に準じます。
14. 選手同士や審判員との握手は行わない。
15. シャトルの交換は、主審に確認の上、選手がシャトルを直接筒から取り出し、使用済みシャトルは選手が回収かごに入れる。※定期的に競技役員が確認する。
16. プレーヤー同士や監督・コーチとのハイタッチ等の接触を行わない。
17. 団体戦、個人戦は次の通り行います。

〈団体戦の場合〉

18. オーダー用紙は、必要部数を当日8月22日代表者会議にて配布します。トーナメント戦での次対戦分は対戦後、勝者チームに配付します。
19. オーダー用紙は、オーダー交換所に提出してください。対戦チームが揃ったら、競技審判副部長立会いのもとでオーダー交換を行いますので、定刻(指定のあった時刻)厳守でお願いします。
●8月23日 1巡目オーダー提出時刻は、【8:30】です。
2巡目以降のオーダー交換については、放送で案内します。
20. 定刻(指定のあった時刻)までにオーダー用紙の提出が無いときは、「棄権」と見なします。
21. コート入場後の公式練習は、主審の指示によりマッチごとに行います。ただし、主審の練習開始指示からプレー開始までの間を3分間とします。
22. 当日の初対戦は、3試合(マッチ)すべてを行います。このとき、勝敗決定後の3試合目のオーダー変更を認めます。なお、変更するスコアシートを持参し、主審に申し出てください。主審からレフェリーに確認を取ります。以後、勝敗決定後の試合(マッチ)は打ち切りとします。
23. 進行状況に応じて、1対抗戦の開始時または対戦途中から2コートを併用して行うことがあります。この場合も試合の順序に関係なく、勝敗決定後、打ち切りとします。
24. 主審は大会本部にて行いますが、**線審、得点表示員は対戦チーム内から配置ください。**

〈個人戦の場合〉

25. 選手(プレーヤー)の変更は、いかなる場合も認められません。
26. コート入場後の公式練習は、主審の指示により行います。練習時間は、団体戦同様とします。シングルスの場合は、対戦相手と行ってください。
27. 敗者線審制としますので、敗退した選手は速やかに本部へ来ていただき、主審と共に次の試合の線審業務にあたるようお願いいたします。なお、**1巡目の試合については、対戦者相互で自チームから1名ずつ線審を出すようご協力願います。**また、全試合について、得点表示員につ

いては、人員不足から、対戦チーム同士で出せる場合にご協力をお願いします。難しい場合は、線審が得点表示業務を兼ねることとします。

ダブルスの場合は、敗者ペアの2名ともが次の線審業務に当たってください。

シングルスの場合は、敗者線審1名に加え、本部から1名線審業務にあたる審判員を出すこととします。

2 監督、コーチ、選手等、変更・棄権の確認

1. 監督、コーチ、マネージャー、選手の変更届および氏名訂正届は代表者会議において要請できるが、その後の変更は一切認めません。
2. 棄権が事前に分かっている選手については所定の用紙により、事務局までご連絡ください。用紙は日本教職員バドミントン連盟ホームページよりダウンロードできます。
3. その他の棄権については、大会運営規程によります。

3 会場使用上の注意

1. 貴重品他、持ち物については各自で管理してください。盗難等がおきても主催者側では責任を負いかねます。
2. 体育館外から持ち込んだ物は、ゴミを含めてすべて各自で持ち帰ってください。
3. 競技フロア内は、競技中の水分補給以外は飲食厳禁です。
4. 館内器具などの無断使用および他施設への立ち入りを禁止します。
5. 体育施設敷地内は、すべて「禁煙」です。喫煙される方は、近隣の店舗、住民の方々の迷惑にならないよう、マナーを守ってください。
6. 体育施設内のコンセントの使用は、「禁止」します。
7. 昼食はギャラリー以外では取らないようお願いします。又ごみは各自で持ち帰ってください。
8. フロア内での写真・動画等の撮影は、報道関係・大会関係者を除き、禁止いたします。観客席からの撮影においても、個人情報の保護に十分注意していただき、運営の妨げにならないようお願いいたします。
9. 本大会は、有観客試合での大会実施とする。会場内への出入りについては、特に制限しない。体調がよくない場合（発熱・咳・倦怠感などの症状がある）、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は、自主的に入場を見合わせる。マスク着用は、基本的に個人の判断とする。
10. 感染拡大予防として、各所で使用する手指消毒剤等については、会場施設との協議により設置する場所がある。
11. 競技会場（競技スペース）及び競技関係用具類について
 - ①コートサイドにはカゴやドリンクケースは設置しないので、バッグ等を持参し、コートサイドもしくは所定の場所に置き、ドリンクも各自のバッグに保管する。
 - ②コーチングシートは2席用意します。※チェンジエンス毎に椅子を持ち歩く必要はありません。
 - ③インターバルボードを使用します。
12. 適宜手洗いやうがい等により予防に努める。ゴミについては、各自持ち帰り自宅で処分する。